



小学校・国語科 授業実践アイディア例 (B書くこと)

「協働的な学び」を通して「書く」力を育てる！

「協働的な学び」が重要なことは理解しているけれど、意見や感想を伝え合うだけで学びが深まっていない。どう改善したらいいのかな？



授業改善のポイント

伝え合う活動を「協働的な学び」へと転換することで、「主体的・対話的で深い学び」の授業が実現できます。

アイディア例「地域の魅力を発信しよう」(第4学年)
【ねらい】相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。



総合的な学習の時間で調べたり体験したりした地域の魅力を、「道の駅」に来た人に伝えたいな。リーフレットはどうか？



どんなふうにとまとめたら伝わるかな？

リーフレットを見てみましょう。



B書くこと

- 題材の設定
- 情報の収集
- 内容の検討
- 構成の検討
- 考えの形成
- 記述
- 推敲
- 共有

見出し (見本)

写真

伝えたい魅力を記事にする。

出典

出典記載の注意

グラフ・図

インタビュー

自分の考え

見本分析の視点

- ・ 誰に、何を、どのように
- ・ いちばん伝えたいこと
- ・ グラフと文章のつながり
- ・ インタビューを選ぶ
- ・ リーフレットの構成

教師見本や教材を児童と一緒に分析し、単元で児童が身に付ける資質・能力について**具体的に共有**することが大切です。

自分で取り組む

- 解決の見通しをもつ
- 情報を収集し調べる
- 自分の考えを形成する
- 思いや考えを基に創造する

身に付けること

- 相手や目的を意識する。
- 集めた材料を比較したり分類したりして伝えたいことを明確にする。
- 中心を明確に。内容のまとまりで段落をつくる。

自分の課題を明確に

- 取材メモから書きたいこと一つを決める。
- 調べたことや体験したことを具体的に書く。
- 自分の考えが読み手に伝わるよう、グラフや図、写真を用いる。

まずは、挑戦することが大事！そのなかで疑問が生まれ、調べたり聞いたりするなど**協働的な学びの必要性**が生まれてきます。

新たな考えに気付く

個

広げ
深める

友達と互いに学び合う

協

自分の考えを伝える

個



プロの人はどんなことに気を付けて作っているのかな…。

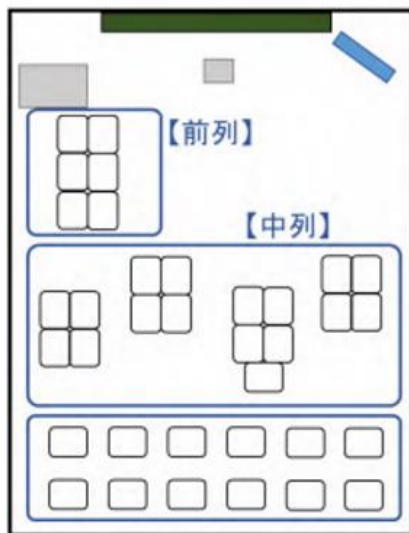


地域新聞社の人に聞いてみようよ。

「見いだす」「自分で取り組む」で身に付けた見方・考え方を働かせ、協働的に学ぶことで学びが広がり、個の学びも深まります。児童自身がよりよい学びを自己決定できる環境整備が重要です。



個々の学びに合わせた教室環境の例



【前列】…一斉指導、個別アドバイス、発表練習など

【中列】…協働学習、学び合い、意見交換など

【後列】…個別学習

(情報収集、課題考察、動画視聴など)

個別最適な
学び

往還

協働的な
学び

個々の探究課題から主体的な学びが生まれる
主体的な学びから対話が生まれる
対話から多様な考えに触れ学びが深まる



内容を具体的にする対話

読んでくれる人に
伝わりやすいように
グラフを入れたよ。

Aさんの
インタビューの
この部分を使おう！



表現をよりよくするための対話

地域新聞の人に
助言をもらって
見出しの表現を
工夫してみた。

自分の思いが
正確に伝わるのは
こっちの言葉だな。



新たな疑問をもつ

学んだことを確実に身に付ける

学んだことをまとめる

思考の過程を振り返る

まとめ
あげる

家族や地域の人、友達や本から情報を集めることができた。友達と対話したことで自分の考えがはっきりした。リーフレットを読んでもらった人の感想も聞きたいな。



「協働的な学び」を通して「個の学び」を深める授業が、楽しみながら学び続ける、自立した学習者の育成につながります。



COMPASSの指し示す先へ ～COMPASSからつながろう！～

学力向上通信「COMPASS」をお読みいただいた感想や実践してみた感想、今後取り上げてもらいたいテーマなど、ぜひ、御意見・御感想をお寄せください。「COMPASS」の先に見えてきたものを共有しませんか。

右の2次元コードからアクセスしてください。

